

- 生徒の主体性を育てたい!
- 集団づくりがうまくなりたい!
- 特別活動の授業のアイデアを広げたい!

そんな先生方に、秀学社の特別活動通信シリーズをお届けします。



東村山市立東村山第五中学校

吉川 滋之

生徒一人一人にとって誇りに思える学級づくりを目指して
～中学校での学級活動の実践を広げ、深めていきましょう～
「学級目標は大切ですか？」
(学級目標を柱とした学級活動の積み重ねの工夫について)

1 学級目標設定の意義とは？

入学・進級の季節、年度当初の学級開きの期間では、様々なアイデアや工夫を凝らして子どもたちを迎え入れることと思います。

学級担任の先生は、新しい一年間の学校生活の始まりにあたり、教師としてどのような学級づくりを進めていくのかという学級経営方針について構想し、具体化していくための手立てを整理していくことが必要になります。

その中で、「こんな学級にしたい。こんな学級生活を皆でつくりたい。こんな自分たちでありたい。こんな子どもたちに成長してほしい。」という考えをもとに、生徒・学級担任・保護者の思いや願いを生かしていくための集団の目標、いわゆる「学級目標」を大切にづくり、全員で共有し、その実現に向けて日々の学級活動の実践に生かしていくことは、集団活動を充実させていくための大切な柱となります。

2 学級目標づくりは急がなくてよいのです

学級目標づくりまでの一連の流れについて、私の担当した学級での実践事例を踏まえで紹介します。

学級活動の時間に、学級担任による経営方針について生徒たちに説明しました。「誰一人取り残さない学級集団」を担任の願いとし、個性の発揮、お互いの良さの発見や尊重、学習面や生活面における努力の積み重ねの大切さ等について語りました。あわせて、学校教養目標や学年目標の意味についても整理し、説明を行いました。

生徒の実態については、学年や発達段階の状況に応じて現状や課題は様々ですが、めざす学級像を具体的にイメージし、その実現に向けてどのような手立てが必要かを考えていきます。

生徒自身の学級に対する思いや願いは、始業式初日に書いてもらったメッセージカードの記述や自己紹介カード、年度初めのキャリア・パスポート等をもとに、小集団での話し合い活動を通して集約しました。

また、保護者会（学級懇談会）で、保護者の願いについても集約しました。各家庭から、生徒の学習者用端末のフォームを通して、中学生になった我が子や学級に期待すること等について記入をお願いしました。（資料1）心温まるメッセージの数々は、一年間学級に掲示しながら、折にふれて話題にしました。

学級のオリエンテーション期間を終え、各教科の授業が始まり、生徒同士の交流が始まってきた中で、学級目標づくりのための話し合い活動を短時間ずつ、複数回に分けて設定しました。

生徒・担任・保護者の願い、教育目標や学年目標とも関連づけて、意見や考えを出し合い、比べ合い、自分たちのこれからの学級生活に合った目標を学級会でまとめていきました。

最終的には5月中旬に決定し、デザイン系の生徒が中心となり学級目標の掲示物を完成させ、お披露目しました。（資料2）

年度当初の学級開きの期間では、生徒同士の人間関係が始まったばかりで、お互いの良さを確認し合ったり、学級の実態を自分たちで把握することは難しいと思います。そのため、一年間の学級生活の柱となる学級目標は急がずに設定し、その実現に向けて、日々の活動実践や振り返りに活用していただける内容にしていくことが望ましいと考えています。

3

学級目標の実現に向けての
実践と振り返り

完成した学級目標は、普段の生活や学校行事の場面など、折にふれて意識させていきます。

学級生活の見直しを図るための学級会の実践時には、司会グループの生徒が計画委員会で作成した事前アンケートフォームを通して、「学級目標実現度」を星三つ中いくつか（その理由もふまえて評価）で回答してもらいます。その中から学級の良さや課題を把握し、議題や提案理由が設定される場合もあります。（資料3）

学級目標実現度や生徒の考えは、学級活動コーナーに掲示し、その都度共有します。活動の実践時やその振り返りに学級目標を意識した取組を行うことで、よりよい学級生活を当事者意識をもって考えていくための機会にしています。また、実現度の数値にこだわらず、取組の本質が見えなくなる場合もあるため、学級の現在地と課題の把握としての資料として活用させていきます。



あとかき

学級目標を考えていく際に、特別活動における育てたい資質・能力の三つの視点「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識させました。この資質・能力の育成を念頭において指導を行っていくことで、特別活動が各教科指導との往還にも生かされていきます。

小学校高学年から中学生にかけては、自分の考え方や行動を決定するための自我が大きく成長する時期です。集団生活の中で多様な意見や考えにふれ合い、自分らしさを形成していきます。人との関わりを通して、皆に認められ、人の役に立てる自分であるということを自覚していくことで、自尊感情や自己効力感も高まり、自己実現につながる力になります。学校教育における不易と流行の中で、「人は人の中で育つ」ということは、これからも大切にしていきたい要の部分であると言えます。

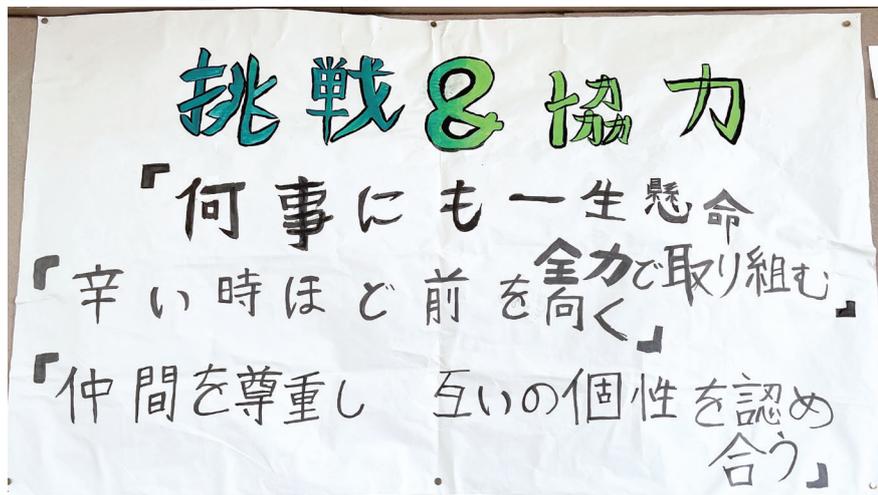


資料1 各家庭から集まった「保護者の願い」

○組保護者の願い

- 心の中に溜め込まず、何でも言い合えるクラスになってほしいです。友達も大切に、そして自分も大切に！
- こんな中学生になってほしいと思うのは、自分の気持ちばかり押し通すのではなく、相手の気持ちになって考えて行動できるようになってほしいです。親に頼らずに、自分で考えて、行動して、できる事を少しずつ増やしてほしいです。
- クラス皆で協力しあい、何事も前向きに取り組んで欲しいです。
- 色々なことに挑戦したり、クラスの全員と仲良くなれるように中学生生活を楽しんでほしいです。
- 授業や勉強だけでなく、部活なども含め、一生懸命真剣に取り組む姿勢を大事にし、他人との関わりの中で多くを学んでほしいです。卒業を迎える頃には、この学校の卒業生として誇れる中学生生活を送って欲しいです。またそんな中学生であって欲しいです。学級に関しては、中学始まりのクラスとして、みんなが仲間という意識をもち、誰しもが他人を応援できるモチベーションの高い学級であって欲しいです、一年間よろしくお願いいたします。
- 自分の力で考え計画的に行動できる中学生になってほしいと考えています。これから先、たくさんの試練と困難が待ち受けていると思いますが、周りのお友達と協力しながら「楽しかった」と思える記憶をたくさん積み重ねてほしいと思います。1年間よろしくお願いいたします。
- 大事にしてもらえたらと思うテーマを2つ挙げます。1つは「持続可能性」。長い目で見て、大事なことは何かと考えられたら良いと思います。2つ目は「レジリエンス」。上手いいかないことがたくさんあると思います。その時、これを良いきっかけにしてこれから何ができるかな、と考えられたら素晴らしいと思います。楽しい1年間になりますように！
- 「思うだけ、言うだけ、ではなく先ず行動してみると色々なことが見えてくるよ。」「周りの人の考えを尊重し、自分の考えを持てる様になると気持ちが楽になるよ。」「仲間を大切にしたい思いを持った素敵なクラスになって欲しい。」
- ①みんなで助け合えるクラス(困っている仲間へ声をかけられる)
②ひとりひとりが個性を発揮できるクラス
誰とでも仲良くなって、お互いに助け合って、共に勉強して遊んで、仲間を助けられる思いやりのある中学生になって欲しいです。
- しっかりとしている中学生になって欲しいです。
- みんなが思いやりの心をもって、助け合って、仲間を大切にしたい学級になってほしいです。中学校でできた友達と思い出は一生モノです。一日一日を大切に、絆を大切に、最高の青春を送ってください。

資料2 学級目標の掲示物



資料3 学級目標実現度の推移

学級の、現在の「学級目標実現度」は、どのくらいだと思いますか？

